

2016年9月、創立130周年を迎える宮城学院。そんな節目の瞬間を学院全体で盛り上げていくため、新たに「宮城学院130th VIEW」を創刊しました。今回からは「宮城学院の歴史」と題し、全4回シリーズでこれまでの歩みを振り返ります。

## 「130th VIEW」の由来

タイトルの”VIEW”には「130周年記念事業やこれまでの歴史など、宮城学院に関するさまざまなものを、皆さまに広い範囲で見てほしい」との意味が込められています。

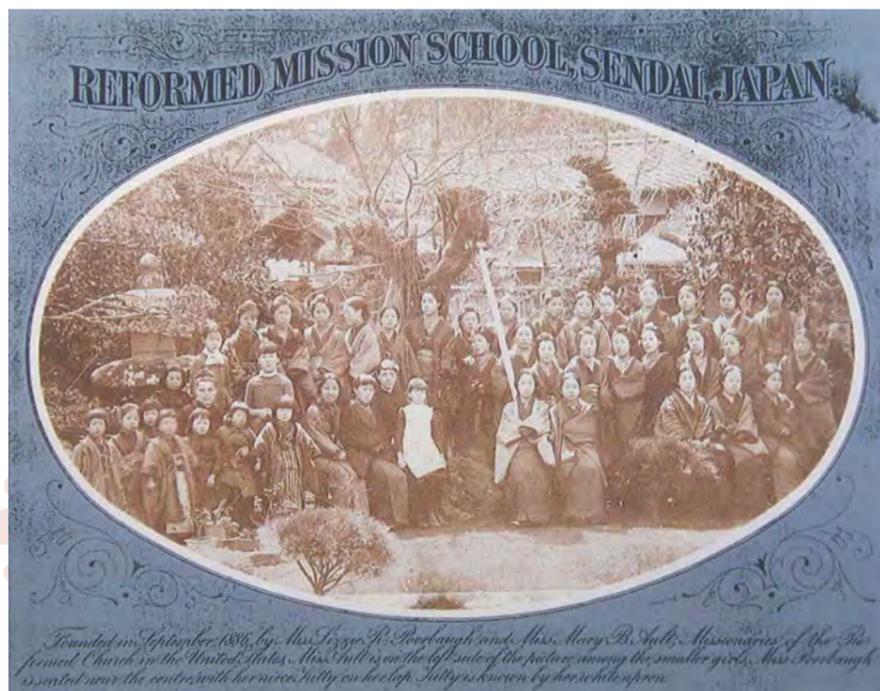
# The History of Miyagigakuin

～宮城学院の歴史～

## 第1回 草創期の宮城学院

### 「宮城女学校」として1886年に誕生

宮城学院は、1886（明治19）年「宮城女学校」として産声をあげました（予科3年、本科4年）。創設者はのちの初代校主である押川方義と合衆国改革派教会宣教師のウィリアム・E・ホーイ。設置認可を受けた9月18日は、創立記念日として定められています。この当時はまだ校舎がなく、田辺氏別邸を使って授業が行われていました。



### 創立から3年後 初代校舎が完成



初代校長に就任したのはエリザベス・R・プールボー。宮城学院OGの方々にとっては、最も馴染みのある先生の一人といえるのではないのでしょうか。また創立以来、田辺氏別邸で授業が行われていましたが、授業開始から3年後の1889（明治22）年、木造2階建の初代校舎が完成。4年後の1893（明治26）年には、最初の卒業生が学び舎を巣立っていきました。

### 創立130周年特設ページが登場！

記念行事や記念ロゴマークなど、創立130周年に関するトピックスがいっぱいの「特設ページ」が登場！法人・大学・中高・幼稚園の各ページから、バナーをクリックしてぜひアクセスしてみてください。

